



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	二俣川1丁目介護施設新築工事	階数	地上3F
建設地	横浜市区二俣川1丁目39番の5ほか	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域、第1種住居地域、準防火地域、法第22条区域	平均居住人員	103 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年4月4日
敷地面積	4,132 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	1,110 m <sup>2</sup>	確認日	2023年4月4日
延床面積	3,173 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業(株)

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 81% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 81% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 81% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。	その他	
Q1 室内環境 全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造で分別性・設備との錯綜に配慮に配慮している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



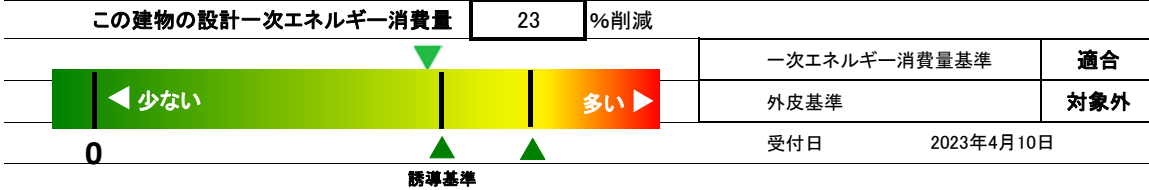
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 二俣川1丁目介護施設新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm0.72

③LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩建物全体・共用部分)ブラインド+庇(バルコニー)、住居・宿泊部分)カーテン+庇(バルコニー)

⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰床:ビニル床シート20年、壁:クロス貼20年、天井:クロス貼30年

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.1  
三俣川1丁目介護施設新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.7</b>	0.15	<b>2.0</b>	1.00			<b>2.4</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				<b>2.4</b>	0.40	<b>1.6</b>	0.40			-
1 開口部遮音性能				3.0	0.41	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能				2.0	0.59	1.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0	0.20			-
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>2.0</b>	1.00			<b>2.0</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			-
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	<b>3.9</b>	1.00			<b>3.5</b>
3.1 昼光利用				<b>2.4</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.30			-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	2.0	0.60	4.0	0.60			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.4</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00			<b>3.2</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.3</b>	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	5.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	4.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20	-	-			-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境	5.0	1.00	-	-			-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.5</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				<b>3.5</b>	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				<b>2.6</b>	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	2.0	0.20	-	-			-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.8</b>	0.30	<b>2.4</b>	1.00			<b>2.6</b>
3.1 空間のゆとり				<b>2.8</b>	0.30	<b>1.8</b>	0.50			-
1 階高のゆとり				2.0	0.60	1.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.4</b>	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

三俣川1丁目介護施設新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		4.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.31	-	-			1.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.2
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.5	0.50	-	-			3.5
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-			2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	2.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			3.0
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-			2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.6	0.60	-	-			3.6
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.3	0.20	-	-			2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				1.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.0
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-			3.7
2 地域環境への配慮				2.3	0.33	-	-			2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-			-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-			-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	1.0	-	-	-			-